

名古屋大学・臺灣大學 第9回大学院生研究発表会

「日本と東アジアにおける文化の政治性」

時 間：2022年9月23日（金）

形 式：オンライン

主 催：名古屋大学超域文化社会センター・臺灣大學日本研究中心・臺灣大學日本語文学系

(以下は日本時間)

13:30-13:45	受付
13:45-13:55	開会式 飯田祐子（名古屋大学人文学研究科教授/超域文化社会センター長）
13:55-14:00	記念撮影
論文発表（一）	
司会：星野幸代（名古屋大学人文学研究科教授）	
14:00-14:30	発表者：カタラン・マルコ・イグナシオ（名古屋大学大学院人文学研究科研究生） テーマ：子供の遊びから見る戦前日本の軍事化 コメント：田世民先生(台湾大学日本語文学系副教授/日本研究センター執行委員)
14:30-15:00	発表者：劉沅華(台湾大学日本語文学系修士課程) テーマ：演劇活動を取り入れた日本語教育の意味と実践-台湾大学日本語学科を対象に コメント：杉村泰（名古屋大学人文学研究科日本語教育学教授）
15:00-15:30	発表者：魏帰雁（名古屋大学大学院人文学研究科修士課程） テーマ：耿軍のコメディ映画におけるポスト社会主義中国東北の表象 コメント：梁蘊嫻先生(元智大学応用日語系副教授)
15:30-15:45	総合討論
15:45-16:00	Break Time
論文発表（二）	
司会：トリスタン・グルーノ（名古屋大学人文学研究科G30准教授）	
16:00-16:30	発表者：金可烈（名古屋大学大学院人文学研究科博士課程） テーマ：佐多稲子における戦後エッセイの一考察—貧困・戦争・母性を中心に コメント：曹景恵先生(台湾大学日本語文学系副教授/日本研究センター執行委員)
16:30-17:00	発表者：劉晨暉(台湾大学日本語文学系修士課程) テーマ：江戸期庶民食文化・養生観の研究 —『本朝食鑑』における獣畜類食材の記事を中心に コメント：池内敏（名古屋大学人文学研究科日本史学教授）
17:00-17:30	発表者：岸川あゆみ（名古屋大学人文学研究科博士課程） テーマ：台湾映画『香蕉天堂(バナナ・パラダイス)』におけるバナナ表象 —冷戦期東アジアを巡る国際環境とその記憶 コメント：張文薰先生(台湾大学台湾文学研究所副教授兼所長)
17:30-17:45	総合討論
17:45-18:00	閉幕式 林立萍先生（台湾大学日本語文学系教授/日本研究センター長）

注1：一発表につき、論文の発表時間は20～25分、討論時間（コメント3～5分）は5～10分程度です。

注2：上記の時間は日本時間です。